

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子供たちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。



木の岡ビオトープ

## 春の自然観察会(3月8日)

### ●植物観察

ビオトープの中で食べられる野草の解説を聞きながら、観察を行いました。

その後はみんなで食べられる野草の天ぷらを試食しました。



読売新聞からの取材があるなど、64名のおおにぎわいじゃった。



### ●クラフトづくり

ヨシ笛とヨシを使った写真立てを作製しました。親子が協力して参加できる内容で、親子で楽しみながらクラフトづくりができました。



## 夏の自然観察会(9月6日)

### ●下阪本北部の歴史と自然探索

下阪本北部の社寺で社寺林や歴史を勉強したり、ヨシ群落保全地区でヨシの勉強をしました。



休憩でたちよった新唐崎水泳場で水遊び！

### ●クラフトづくり

ヨシ笛とバードコールを作製しました。瞬間接着剤に悪戦苦闘しながらがんばりました。



### ●野草の天ぷら

最後に好評の野草の天ぷらをおかずに、楽しい昼ご飯。



残暑厳しい中、73名の方に参加していただきました。



冬の自然観察会(12月5日)は雨天のため中止させていただきました。

## 定例活動と生物調査

### ◆台風がビオトープを直撃◆

台風が直撃し、ビオトープ内の木がたくさん倒れました。そこで3回にわたり散策路をふさぐ倒木の撤去を行いました。



### ◆土壌生物調査◆

土壌生物の調査を行い、ビオトープの土壌評価を行いました。ビオトープは湿地であるため、森林ほどの土壌までは至りませんが、概ね肥えた畑ぐらいの土壌であることがわかりました。



### ◆魚類調査◆

ビオトープ内に生息する魚類調査を行いました。採取された魚類はほとんど外来種であり、種数も多くありませんでした。



## 木の岡ビオトープについて

### ◆残されていた自然環境(木の岡ビオトープ)◆

木の岡地区の湖岸は、湖底がなだらかな傾斜をなし、陸域から水域まで、様々な水辺特有の植物が生育しています。これらの植物は水中と陸という異なった環境を緩やかにつなぎ、多くの生物が相互に関係を持ちながら存在する良好なビオトープになっています。

木の岡地区は、市街地の広がる南湖の沿岸でありながら開発の手から免れており、幅が100m、面積が4haにもおよぶまとまりのある自然環境が残された非常に貴重な場所です。



### ◆一緒に木の岡ビオトープを守りませんか?◆

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープで自然観察会の開催や清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる個人や団体を対象に会員募集を行っています。

会員の方は、ニュースレター『おにぐるみ通信』の配信や、各種活動の案内のご送付、イベント等へ優先的にご参加いただけます。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。



### 発行者

◆ おにぐるみの学校事務局  
滋賀県土木交通部河港課河川環境担当  
TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904  
E-mail: ha04@pref.shiga.lg.jp  
URL: <http://www.pref.shiga.ip/h/kako/>

平成21年度の活動は(財)日本環境協会藤本倫子環境保全活動助成基金より助成を受けて活動しています。